

教養科目

授業科目名	右上表示
心と健康	教養-A1
政治学	教養-A2
経済学入門	教養-A3
日本国憲法（テキスト）	教養-A4(1)
日本国憲法（夏期スクーリング）	教養-A4(2)
地域研究	教養-A5
社会と文化	教養-A6
数学	教養-B1
物理学が拓いた世界	教養-B2
生命の科学	教養-B3
化学の世界	教養-B4
人間生理学	教養-B5
歴史学	教養-C1
宗教とは何か	教養-C2
文学	教養-C3
言語と情報	教養-C4
英語圏の文化	教養-C5
美術の歴史	教養-C6

心と健康 (集中スクーリング)

担当教員：吉原 啓

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2023年度

概要

人間の健康は、心と身体が相互に深く関連し保たれています。この講義では、主に心の視点から健康についての様々な考え方を紹介し、私たちの「心と健康」について考え、理解することを目的とします。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業 (manaba, Zoom 利用)】

ZOOM を利用した同時双方向型授業、テキストと PowerPoint を使った講義、ZOOM のブレイクアウトルームを利用したグループワーク、Google フォームや manaba を利用したリアクションペーパーと最終回論述試験の実施

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

人の心と健康というテーマについて、心の視点から様々な理論や考え方を理解し、自分自身のこれまでの振り返り、これからの「心と健康」について深く考察できるようになる。

授業計画

一日目 1～5 ZOOM による授業

1. 「心と健康」オリエンテーション：学習について

2. 脳と学習・モチベーション

3. 認識について

4. 成長・発達理論

5. 自己理解と心の健康：パーソナリティと自己概念

二日目 6～10 ZOOM による授業

6. 精神的健康

7. 精神病理・精神疾患

8. ストレス・ストレスマネジメント

9. 心理療法・カウンセリング理論 (1) 認知行動アプローチ

10. 心理療法・カウンセリング理論 (2) パーソンセンタードアプローチ

三日目 11～15 ZOOM による授業

11. 人間関係

12. コミュニケーション

13. リスク管理

14. 今後の自分について考える

15. 振り返り・論述試験

受講生の関心や理解度に応じて、講義の順序や内容の重点の置き方などは変更することがあります。

受講にあたって

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

前もって講義の内容に沿った教科書を読み、授業に臨むこと。準備学習時間は一回の授業につき3時間程度が目安です。

② 使用教科書 ワークショップ 大学生活の心理学 藤本忠明・東正訓編著 ナカニシヤ出版

資料配付

③ 参考書 なし

④ 準備するもの 筆記用具

⑤ 成績評価 授業内のリアクションペーパー30%、最終回論述試験70%

⑥ 学生へのメッセージ

この授業では、受動的に授業を受けるのではなく、様々なテーマに関して主体的に自分で考え、自分の考えを伝えることを重視します。また、他の学生と意見交換をする中で、様々な立場や考えを知り、視野を広げましょう。

政治学 (テキスト)

担当教員： 東郷 育子

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2023年度

概要

世界は刻々と変化し、動いています。政治学は歴史も含む様々な事象をどのように理解すればよいのかを教えてくれる学問です。本科目では政治学の基礎的知識から専門的知識に至るまで楽しくかつ気軽に学べるように構成されています。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

政治学及び国際政治の基礎知識を身につけ、政治の事象を理解できるようになること。政策はどうやってできるのか、現実の政治にどのように展開されているのか、問題意識や解決の道筋を考えることができるようになること。

学習の進め方

テキストを読みながら、常に現実の、また身近な問題から紐解いてみましょう。わからない言葉がある場合、読み飛ばしたり、そのまま放置することなく、事典や辞書、インターネット情報などを丹念に調べる。新聞を毎日読んでみる習慣をつけましょう。

内容

1. 政治学をどう理解し取り組んでいくか
2. 政治学の基礎的な概念や知識を学ぶ
3. 政治体制、政治変動、民主化を学ぶ
4. 政治と経済の関係を学ぶ
5. 福祉国家とは何かを学ぶ
6. 自由民主主義体制とは何か
7. 公共政策の立案・決定・実行
8. 政党と政党政治を学ぶ
9. 政治意識と政治文化とは何か
10. 国家の再編・分権化・統合の行方
11. 国際政治の基礎知識を学ぶ
12. 人間的悲惨、戦争と平和を考える
13. 国境を越える地球的問題群とは
14. 伝統的な政治学から実証的な政治学へ
15. 揺れる政治・国際情勢を学ぶ

テキスト・参考書

①テキスト 現代政治学(第4版) 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦 有斐閣アルマ 2012、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 比較的読みやすい内容の入門書2冊紹介します。

① 教養としての政治学入門 成蹊大学法学部編著

② 政治学の第一歩 砂原他著 有斐閣ストゥディア

成績評価

①レポート

問題設定がちゃんとできているか、タイトルと何を書きたいのか内容に整合性があることに留意してください。多くを語る必要はありませんが、ダラダラ書くのではなく、要点を絞り、読みやすくするように心掛けてください。論理性で30点、構成で30点、理解度で30点、出来映え10点の配点となります。

②科目修了試験

範囲指定した章の内容から、5つの設問を提示します。そのうち1問を選択して答えるテストです。選択した問いの出題意図を理解しているのか、問われた内容を的確に答えているかどうか、解答の内容に努力しているか、などから総合的に評価します。

その他

新聞、テレビ、インターネット上のニュースをつねにチェックしてください。

経済学入門（夏期スクーリング）

担当教員： 福山 博文

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2023年度

概要

本授業では、消費者の購買行動や企業の利潤最大化行動、政府の政策立案など様々な経済活動の仕組みを明らかにすることを目的とする「経済学」の基本的概念を解説する。経済学は、大きくミクロ経済学とマクロ経済学に分かれる。ミクロ経済学は、経済の最小単位である家計や企業、政府などの意思決定や行動を研究するのに対し、マクロ経済学は、家計や企業、政府などをひとくくりにした経済全体の動きについて分析するものである。経済学のほとんどの応用分野がミクロ経済学の基礎の上に成り立っており、経済学の習得において、ミクロ経済学の理解は欠かせない。したがって、本授業では、ミクロ経済学の基礎理論を解説した上で、その理論を実証するデータを紹介しながら、経済学的な考え方の習得を目指す。本授業では、伝統的なミクロ経済学で扱われる消費者の理論や生産者の理論、市場の理論に加えて、ゲーム理論などの最新のトピックまでを概観する。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba利用）】

オンデマンド型による授業。manabaに掲載される動画を閲覧して、manabaの小テスト機能やレポート機能を使って課題を提出してもらう。質問等については、manabaを用いて受け付ける。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ・経済学の基本的な考え方を身につける。
- ・市場の働きとその限界について理解する。
- ・市場の仕組みを図や数式を用いて分析できるようになる。

授業計画

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 経済学の基本原理（第1日：オンデマンド型（manaba）） | 9. 政府の役割（第2日：オンデマンド型（manaba）） |
| 2. 需要と供給（第1日：オンデマンド型（manaba）） | 10. 労働市場（第2日：オンデマンド型（manaba）） |
| 3. 消費者の理論（第1日：オンデマンド型（manaba）） | 11. 小テストの解答の解説（第3日：オンデマンド型（manaba）） |
| 4. 生産者の理論（第1日：オンデマンド型（manaba）） | 12. 独占市場（第3日：オンデマンド型（manaba）） |
| 5. 市場の理論（第1日：オンデマンド型（manaba）） | 13. ゲーム理論（第3日：オンデマンド型（manaba）） |
| 6. 小テストの解答の解説（第2日：オンデマンド型（manaba）） | 14. 行動経済学（第3日：オンデマンド型（manaba）） |
| 7. 貿易（第2日：オンデマンド型（manaba）） | 15. 小テストの解答の解説（第3日：オンデマンド型（manaba）） |
| 8. 外部性と公共財（第2日：オンデマンド型（manaba）） | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

③参考書に示すミクロ経済学の入門書を1冊購入し（あるいは図書館で借りて）、各回の該当箇所を読んで授業に臨むこと。1回の授業につき最低1時間。

②使用教科書 特になし。授業において使用する音声付きパワーポイントをmanabaからダウンロードしてください。

③参考書

- ・ミクロ経済学 アセモグル・レイブソン・リスト 東洋経済新報社 2020
- ・ミクロ経済学の基礎 小川光・家森信善 中央経済社 2016
- ・スタートダッシュ経済学 伊ヶ崎大理・大森達也・佐藤茂春・内藤徹 勁草書房 2019

④準備するもの 筆記用具、ノートなど。

⑤成績評価 小テスト70%、課題レポート30%

⑥学生へのメッセージ 特になし。

日本国憲法 (テキスト)

担当教員： 田中 洋

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2023年度

概要

日本国憲法を読むと、お世辞にも美しい日本語とは言い難い。それゆえ法学を初めて学ぶ者にとっては、まるでラビリンス (迷宮) のように感じられるのも仕方がないことであろう。

しかし法学は、実は論理的思考と厳格な用語法を持つ合理的な世界でもある。憲法の学習も、条文、最も一般的・基本的な考え方 (通説)、具体的な事件に裁判所がどのような判断を下しているのか (判例)、という3つを中心に考えることになる。本科目でも、この点を中心に、人権、平和、国家の仕組みなどについて学ぶ。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

- ・憲法とは何か、人権の意義、立憲主義など、基本的な事柄を本質的に理解する。
- ・日常生活の中で生じる様々な問題を、憲法的視点から考えることができる。

学習の進め方

テキストを第1編を中心に一読した後、レポート課題を確認し、関係箇所を見極めながらテキストを熟読する。レポート作成にあたっては、課題1はテキストとともに参考書にもあたりながら、課題2はテキストを精読し、適宜学習を深める。

内容

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. イントロダクション…序論、序章 | 9. 社会権、参政権、請求権 |
| 2. 人権の享有主体 | 10. 国民権、国会 |
| 3. 憲法の私人間効力、公共の福祉 | 11. 内閣 |
| 4. 包括的基本権 | 12. 裁判所 |
| 5. 精神的自由① | 13. 地方自治、平和主義、憲法改正 |
| 6. 精神的自由② | 14. 科目修了試験へ向けた準備① |
| 7. 経済的自由 | 15. 科目修了試験に向けた準備② |
| 8. 人身の自由 | |

テキスト・参考書

①テキスト 教職教養 日本国憲法 補訂第2版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011、学習の手引

テキスト一覧 (『履修の手引』に掲載) を必ず参照のこと。

- ②参考書
- ①憲法 第7版 芦部信喜、高橋和之補訂 岩波書店 2019
 - ②憲法判例百選Ⅰ 第7版 長谷部恭男他編 有斐閣 2019
 - ③憲法判例百選Ⅱ 第7版 長谷部恭男他編 有斐閣 2019
 - ④学校・法・社会 坂田仰 学事出版 2002

成績評価

①レポート 課題について理解しているか、レポートとしての完成度を含めて総合的に評価する。

②科目修了試験 第1問、第2問とも50点とし、合計点で評価する。

その他

日常の中にある憲法に関する問題について敏感になるために、テレビや新聞などのニュースに親しむようにしましょう。また、公務員試験、行政書士試験等、法学系資格試験の受験を考えている学生の受講も歓迎します。

日本国憲法 (夏期スクーリング)

担当教員： 高橋 和則

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2023年度

概要

憲法および日本国憲法に関する基本的な知識と理解の獲得を目的とした講義です。これらについて知識のない方が受講されることを前提としています。しかし、一定の知識のある方の受講も歓迎します。今季は特別の事情により遠隔授業によって実施します。具体的には音声付のスライドを視聴してもらうやり方です。

授業の方法

【オンデマンド型 (manaba 利用)】

オンデマンド型遠隔授業 (manaba 利用) を行います。manaba にある URL をクリックしてスライドを見ながら音声を視聴してもらう形式です。途中で止めることも、もう一度聞き返すことも可能です。

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

- ①憲法と立憲主義がいかなるものかを理解する。
- ②日本国憲法の特徴を理解する。
- ③教職などの資格試験に必要な日本国憲法の知識を身につける。

授業計画

(カッコ内はテキストのページ数)

- | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. イントロダクション 講義の方針と法律の概要 | 8. 日本の憲法2 日本国憲法と国民主権(134-7) |
| 2. 憲法が現れる時 尊属殺重罰規定事件を例として(51-2) | 9. 人権の享有主体性 外国人・法人・公務員その他(24-34) |
| 3. 憲法の成立 憲法史的検討 | 10. 憲法の私人間効力・法律の留保と公共の福祉(34-42) |
| 4. 現代の事例から 公権力と憲法(131-2) | 11. 包括的基本権(43-60) |
| 5. 憲法の最高法規性1 憲法改正と平和主義(179-183) | 12. 思想・良心の自由(61-4) |
| 6. 憲法の最高法規性2 違憲審査制(168-171) 平等原則 | 13. 信教の自由(77-89) |
| 7. 日本の憲法1 大日本帝国憲法と天皇主権(15-8) | 14. 表現の自由(64-76) |
| | 15. 学問の自由、教育を受ける権利 (86-9、118-124) |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

講義で触れるテキストの部分に目を通してみる (わからなくてよい)。[授業計画] のページ数を目安にせよ。復習の仕方は初回講義時に指示する。予復習合わせて最低1時間。

- ②使用教科書 ①教職教養 日本国憲法 補訂第2版 坂田仰・田中洋 八千代出版 2011
②プリント manaba 上にアップロードいたします。
③各種法律の条文 (初回に指示します) 六法があるとよいが (近隣) 図書館でのコピー、ネット利用も可

- ③参考書 ①憲法 芦部信喜 岩波書店
②法律学小事典 有斐閣 (近隣などの図書館を利用してください)

- ④準備するもの [使用教科書]のみ。

- ⑤成績評価 manaba 上で行う複数回の小テストにより成績を評価します。単位取得希望者は必ず全てを受験してください。

- ⑥学生へのメッセージ 憲法や日本国憲法に関する事前の知識は必要としない ([概要]参照)。

地域研究（夏期スクーリング）

担当教員：近藤 光博

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2023年度

概要

南アジア地域の大国であるインドにおける、いわゆる「宗教紛争」の歴史を講ずる。この地域にとく大きな傷跡を残してきたのは、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の間での紛争対立である。その最たるものが1947年の印パ分離独立（インドとパキスタンが別個の国としてイギリス植民地支配から独立したこと）とそれに伴う凄惨な内戦である。問題解決の糸口すら見いだせない状態が今もつづく。この紛争はいかにして生じ、また持続しているのか。その要因を、政治経済、宗教文化、双方の局面から通時的に解説する。

授業の方法

【同時双方向型（manaba, Zoom 利用）】 ※ 質問等は、manaba の「掲示板」でも受け付ける。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ① 南アジア地域に関する基本的な地理と歴史に関する知識を得たと自覚できる。
- ② インドの政治経済、宗教文化について、より深い知識と理解を得たと自覚できる。
- ③ インドにおける宗教紛争の問題を歴史的な観点から多角的・複眼的に理解できる。
- ④ 学問としての地域研究の視点や方法について、より深い理解を得たと自覚できる。

授業計画

- | | |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. イントロダクションー南アジア概観 | 10. イギリス植民地支配（4）ーナショナリスト運動の時代 |
| 2. 宗教紛争とコミュニナリズム | 11. 独立インド（1）ーネルーの近代主義とその動揺 |
| 3. コミュナリズムの現在 | 12. 独立インド（2）ーヒンドゥー・コミュニナリズムの再台頭 |
| 4. 前史（1）ーインドにとってムスリムは余所者か | 13. 独立インド（3）ーアヨーディヤー暴動とその後 |
| 5. 前史（2）ーヒンドゥーの一体性とは | 14. 独立インド（4）ーヒンドゥー・ナショナリズムの時代 |
| 6. 前史（3）ーキリスト教と科学と啓蒙のイギリス | 15. まとめ |
| 7. イギリス植民地支配（1）ーオリエンタリストの時代 | |
| 8. イギリス植民地支配（2）ーアングリシストの時代 | |
| 9. イギリス植民地支配（3）ーコミユナル暴動の発生 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

高等学校の世界史A程度の知識があるのが望ましい。インド近代史（イギリスによる植民地支配の期間）、およびインド現代史（独立以降、現在にいたる期間）の部分を一読していただくことが望ましい。ただし、事項を暗記する必要はない。所要時間は90分ほど。

②使用教科書 指定しない。プリントを配付する。

③参考書 授業時間内に指示する。

④準備するもの 筆記用具のみ。

⑤成績評価 授業内容に関する質問・発言 30% 授業終了後に提出する課題レポート 70%

⑥学生へのメッセージ

日印関係が日々進展する昨今、インドの政治経済、宗教文化をコンパクトに知るのに大変よい機会と思われます。ぜひ積極的な姿勢で参加してください。また、manaba や Zoom を活用した授業になりますので、ネット環境等を事前にチェックしておいてください。

社会と文化（後土スクーリング）

担当教員：松井 生子

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目/2023年度

概要

本講義では文化人類学の理論を基礎に置き、さまざまな地域の事例を取り上げながら、普段何気なくおこなっていることに宿る意味、文化の多様性と共通性、社会と文化のインタラクションについて理解を深めることをめざします。まず社会と文化の概念、事象を見る視点についての検討をおこなった後（第1日）、社会において人をつなぐ文化の役割（第2日）、人間が世界の中で自己を位置付ける方法（第3日）、文化の動態と可変性（第4日）、現代社会の問題群と文化（第5～6日）を考察していきます。

授業の方法

【同時双方向型遠隔授業（manaba, Zoom 利用）】

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

- ① 自分自身の思考の枠組を相対化し、社会と文化について多角的に分析することができる。
- ② 文化概念を手掛かりとして、人間存在の多様性と共通性について自分の言葉で説明できる。

授業計画

1. イントロダクション ～ 文化とは/社会とは
2. 文化相対主義の視点（第1日：zoom のち manaba）
3. 人と人をつなぐ（1）贈与交換
4. 人と人をつなぐ（2）モラル・エコノミー
5. 人と人をつなぐ（3）むすぶ行為としての結婚（第2日：zoom のち manaba）
6. 世界の中に自己を位置づける（1）儀礼・象徴
7. 世界の中に自己を位置づける（2）宗教的実践の世界
8. 世界の中に自己を位置づける（3）ジェンダーと身体の構築性（第3日：zoom のち manaba）
9. 変化を続ける文化（1）観光のまなざし
10. 変化を続ける文化（2）創造される伝統文化
11. 変化を続ける文化（3）グローバリゼーションと文化の行方（第4日：zoom のち manaba）
12. 現代社会と文化（1）移動する人々
13. 現代社会と文化（2）環境の文化的・社会的側面（第5日：zoom のち manaba）
14. 現代社会と文化（3）戦争および災害後の社会の再生
15. 授業の総括（第6日：zoom のち manaba）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

1回の授業につき1時間程度。manabaで事前配信するレジュメ等の内容を確認すると共に、授業に関連したウェブサイト、文献等をチェックすること（レジュメ配信時期等、詳細はmanabaにてお知らせします）。

②使用教科書 特に指定なし。必要な資料はレジュメと共にmanabaにて適宜配信します。

③参考書 梅屋潔・シンジルト（編）『新版 文化人類学のレッスン：フィールドからの出発』学陽書房、2017年。

④用意するもの 特に指定なし。

⑤成績評価 各授業日の終わりに出題する課題30%、最終レポート70%（いずれもmanabaにて実施）を目安として、総合的に評価します。

⑥学生へのメッセージ 社会と文化について、事例を検討しながら一緒に考えていきましょう。

数学 (テキスト)

担当教員： 夏井 利恵

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2023年度

概要

[第1部 線形代数]

線形代数は多変数を扱う際の基本的な道具であり、現代数学の基礎の重要な一部をなしている。線形代数の基礎を学ぶことにより、数学のより深遠な広がりに触れることと、自然科学のみならず社会科学で実際に使うことができる力を身につけることを目的とする。

[第2部 微分積分]

微分積分は数学の中でも長い歴史をもつ、多くの自然科学の分野で必須の道具として使われてきた分野である。微分積分の基礎を学ぶことにより、科学的な考え方や定量的な議論の方法を身につけることを目的とする。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

「基礎数学」の中から、[第1部 線形代数] または [第2部 微分積分] のどちらか一つを選んで学習する。(いずれも6割の正解を合格基準とする。)

線形代数、或いは、微分積分学の基礎を学ぶことにより、数学的・科学的な考え方や方法論を身につけることを目標とする。

学習の進め方

テキストの章ごとに学習を進める。

レポート課題を確認し、改めてテキストに基づき学習する。

科目修了試験に向けて学習する。

内容

[第1部 線形代数] 選択者

1. 平面と空間のベクトル
2. 行列
3. 行列の基本変形
4. 連立1次方程式の解
5. 掃き出し法
6. 行列式の定義と性質
7. 固有値と固有ベクトル

[第2部 微分積分] 選択者

1. 直線と2次曲線
2. 三角関数
3. 指数関数と対数関数
4. 導関数
5. 関数の増減とグラフの凸凹
6. 偏微分と極値
7. 不定積分
8. 定積分と面積

テキスト・参考書

①テキスト やさしく学べる基礎数学—線型代数・微分積分— 共立出版 石村園子、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 高校の数学の教科書 数学I、数学II、数学III
微分積分学 矢野健太郎・石原繁 裳華房

成績評価

①レポート 課題の理解50%、学生自身の学習成果50%として評価する。

②科目修了試験 課題A、Bのどちらか片方を選択して解答してもらい、100点満点で評価する。

物理学が拓いた世界（夏期スクーリング）

担当教員： 秋本 晃一

1 年次～ 選択必修 2 単位

スクーリング科目／2023 年度

概要

有史以来、文明の進化には科学の進歩が必要不可欠であった。現代社会でも、様々な分野の発展に、物理学によって得られた知識が関わっている。さらに、人類が得たものは科学技術だけでなく世界観にまで及ぶ。本授業では、物理学の中で、力学をはじめ電磁気学などがどのように現代社会に関係しているかについて概観する。

授業の方法

【オンデマンド型及び同時双方向型遠隔授業（manaba 及び Teams 利用）】

同時双方向型遠隔授業の開催時刻（1 日複数回）は授業日前日までに manaba に掲示する。授業日当日に講義資料は manaba に掲示する。また、同時双方向型遠隔授業は録画し、その動画のリンクは授業日当日に manaba に掲示する。詳細は manaba に事前掲示。

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

現代社会の根幹を成す物理学の意義を理解すること。

授業計画

- | | |
|--|--|
| 1. 身の回りの物理現象と物理学 | 9. 電子、半導体素子、インターネット |
| 2. 地動説とケプラーの法則 | 10. 熱伝導、熱機関、熱放射 |
| 3. ニュートン力学とその応用 | 11. 永久機関、エントロピー、ブラウン運動
(以上第2日：manaba と Teams) |
| 4. 粒子と波動の二重性 | 12. 相対運動と相対性理論 |
| 5. 原子核模型と量子力学 | 13. 放射性同位元素と核エネルギー |
| 6. 原子、分子、物質の構造
(以上第1日：manaba と Teams) | 14. 放射線と原子力 |
| 7. 電気と磁気、クーロンの法則から電磁波の発生 | 15. 環境と地球物理学
(以上第3日：manaba と Teams) |
| 8. 電波、レーザー、光通信 | |

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

微分、積分、三角関数、指数関数、対数関数などの高校程度の数学を復習してくること。物理量の単位について、その表記を調べてくること。3 時間程度。

②使用教科書 指定しない。

③参考書 物理学基礎 原 康夫 学術図書出版社

物理学はいかに創られたか（上、下） アインシュタイン&インフェルト 著、石原 純 訳、岩波新書

④準備するもの 動画や資料を視聴するための PC、スマートフォン。プリンタはなくても可。

⑤成績評価 全授業終了後に課題レポートを manaba に提出。レポートの論理性、知識、理解度などで総合評価する。

⑥学生へのメッセージ

さまざまな自然現象や現代社会で用いられる機器の原理を学びたい意欲をもって臨んで欲しい。

生命の科学 (テキスト)

担当教員：大野 速雄・菅野 靖史

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

生物学は生物と生命現象に関する学問である。生物は構造を持ち、物質を代謝している。また、代謝を調節するしくみや環境の変化に応答するしくみを持っている。さらに、子孫を残し、親の形質を引き継ぐしくみも発達させている。生物は、生命の誕生以来、環境の変化に伴って自らを変化させて、多様性を生み出してきた。

この科目では、生物が示す上記のような生命現象を学ぶことによって、「生命の不思議」を探究して欲しい。最近では生物学にかかわるニュースが、新聞やTV、さらにSNSなどの話題にあがることが多い。日頃からさまざまなニュースにも積極的に接し、レポートに活かしていただきたい。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ①生物、生命現象を教科書および様々なニュースなどから学び、「生命の不思議」を探究する姿勢を身につける。
- ②レポートでは、教科書に書かれた内容に限らず、広く自身の集めた情報を活かすことができる。
- ③試験では、設問に対して、150～300字程度で概要を記述できる。

学習の進め方

生物の進化、細胞分裂や生殖の仕組み、遺伝の仕組みとその因子、生物の分類などを中心に、指定のテキストを用いて網羅的に学習する。科目修了試験に向けては、テキストを深く理解することが必要である。

内容

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 生物と生物科学 | 9. 酵素の働き |
| 2. 生物の歴史 | 10. 生殖の種類と意義 |
| 3. 生物の分類 | 11. 減数分裂 |
| 4. 原核生物と真核生物 | 12. 遺伝の法則 |
| 5. 細胞の構造 | 13. 人類の起源と進化 |
| 6. 動物と植物 | 14. ヒトの遺伝 |
| 7. 好気呼吸と嫌気呼吸 | 15. 生物と文明 |
| 8. 遺伝子の発現とタンパク質 | |

テキスト・参考書

①テキスト 生物科学入門 (三訂版) 石川統 裳華房 2003、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 『レポート課題集』・「学習の手引」参照のこと。

成績評価

- ①レポート 課題の理解30%、独自の視点や解釈30点、論理的な記述30%、レポートとしての完成度10%として、評価する。
- ②科目修了試験 基本的に4問程度出題し、2問程度を選択して解答する。その際、知識40%、理解30%、論理性30%として、評価する。

その他

テキスト、参考文献、Web ページの資料などをつなぎあわせるのではなく、それを起点に独自の視点から興味と理解を広げ、個性あるレポート、解答を作成するよう期待する。

化学の世界 (テキスト)

担当教員： 阿部 秀樹・今城 尚志
宮崎 あかね

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

私たちは無数の化学物質にかこまれて暮らしている。化学物質は、私たちの生活に豊かさと便利さを与える一方、様々な環境汚染の原因にもなっている。このような化学物質の二面性を理解し、それらを上手に使うことによって、受講者が安全で快適な暮らしを営むことが、この授業科目の目的である。そのために、まず化学の基礎知識をわかりやすく説明した後、生命現象にかかわる化学物質、暮らしにかかわる化学物質、環境汚染をひきおこす化学物質について詳しく解説する。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

「化学」が日常生活にいかにかかわっているか理解し、化学を通してのものの方が生活の上で役立っていることを説明できる。

学習の進め方

1. テキスト『化学の世界 1』は8章からなる。全体を通読した後、特に自分が関心のある章から詳しく読み直し、高校時代にあまり化学を学ばなかった者も「化学の世界」の大筋を理解する。
2. リポート課題を確認し、関係する箇所を改めてテキスト・参考文献に基づき学習したうえで、リポートの下書きを作成し、テキスト・参考文献との整合性等を確認し、さらに論理的な文章になっているかどうか検討した後、清書して提出する。
3. リポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキスト・参考文献により学習する。リポート不合格の場合は改めてテキストを学習し、参考文献に当たった上でリポートを作成し、再度提出する。
4. 科目修了試験に向けて学習する際はテキストとリポート課題の復習を中心に学習すると良い。

内容

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1. 化学への誘い ～物質とは～ | 8. 生活と化学(1) 食べものの化学、住まいと化学 |
| 2. 基礎となる化学(1) 原子の構造 | 9. 生活と化学(2) 化学物質の安全性と問題点 |
| 3. 基礎となる化学(2) 化学結合と分子 | 10. 生命と物質(1) 酵素とタンパク質、DNAとRNA |
| 4. 身近な有機化合物(1) 脂肪族炭化水素、アルコールとエーテル | 11. 生命と物質(2) 生命工学 |
| 5. 身近な有機化合物(2) アルデヒドとケトン、カルボン酸とその誘導体、芳香族化合物 | 12. 地球環境の化学(1) 地球環境 |
| 6. 身のまわりの高分子化合物(1) 天然高分子 | 13. 地球環境の化学(2) 環境問題 |
| 7. 身のまわりの高分子化合物(2) 合成高分子 | 14. 化学とコンピュータ(1) 化学の貢献 |
| | 15. 化学とコンピュータ(2) コンピュータの貢献 |

テキスト・参考書

①テキスト 化学の世界 1 土屋・小尾・岡崎・浅岡・高橋・松影・蟻川・高橋著 日本女子大学

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

②参考書 化学—基本の考え方 13章 中田宗隆 東京化学同人

成績評価

①リポート 全体を100%としてテキストの内容の理解50%および内容をまとめる力50%で評価する。

②科目修了試験 第1問33点、第2問33点、第3問34点と配分し、合計点で評価する。各問、テキストの内容の理解および内容をまとめる力で評価する。

人間生理学 (テキスト)

担当教員： 内田 さえ

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

生理学は生体の機能について学習する学問である。古典的な生理学は医学そのものであり、のちに生化学、薬理学、分子生物学などが分科してきた。したがって、現在では生理学が扱う領域は膨大となっているが人間として快適に生きていくために必須の知識が盛り込まれている。人間生理学では日常的に遭遇する場面で我々が外界からの刺激・環境変化にどのように処理・対処しているかを論理的に学んでいく。医療系研究職としての経験をレポート添削などにも活かせるのではないかと考える。

(「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目)

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ①正常な生体の機能を説明できる。
- ②外界の変化に応じた生体の調節機構を説明できる。

学習の進め方

1. 第1部から第3部にかけて順に学習する。必要に応じて「学習の手引」を参照する。
2. 章ごと、あるいは複数の章の学習を終えたところで、各章の最初にあるキーワードについて再学習する。
3. レポート課題を確認し、関係する箇所をテキスト・参考文献に基づき学習する。図書館を利用するとよい。
4. レポートの下書きを作成する。図を用いると理解しやすい。
5. 下書きしたレポートと、テキスト・参考文献との整合性等を確認する。
6. 指定の用紙により提出用レポートを作成し、提出する。
7. レポート合格の場合は科目修了試験に向けてテキストを基本として学習する。どうしても疑問が解けない時には、メールによる質問も試みる。レポート不合格の場合は、レポートに赤字で記載してある教員の指示に従い改めてテキストを学習し、レポートを作成し提出する。
8. 科目修了試験に向けて、全体的に学習する。
9. 科目修了試験不合格となった場合は改めて学習し、次回の科目修了試験に備える。科目修了試験終了直後に、理解しにくかった箇所を改めて学習し、自分の弱点を克服する。

内容

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 生理学の基礎知識 | 9. 循環系 |
| 2. ニューロン・シナプス | 10. 呼吸 |
| 3. 筋収縮、体性感覚 | 11. 消化 |
| 4. 視覚、聴覚・平衡感覚 | 12. 栄養と代謝、腎機能 |
| 5. 味覚、嗅覚 | 13. 腎機能と尿生成、体温調節 |
| 6. 運動 | 14. 内分泌 |
| 7. 自律神経系、脳 | 15. 睡眠、生殖 |
| 8. 血液、体液 | |

テキスト・参考書

①**テキスト** はじめの一步のイラスト生理学 改訂第2版 照井直人編 羊土社 2012、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

- ②**参考書**
- ①やさしい環境生理学 鈴木郁子編集 錦房 2019
 - ②人体の構造と機能 第5版 内田さえ、佐伯由香、原田玲子編集 医歯薬出版 2019
 - ③標準生理学 第9版 本間研一 医学書院 2019

成績評価

①**レポート** 全体を100%として、課題の理解50%、「ねらい」「アドバイス」の活用20%、学生自身の学習成果15%、レポートとしての完成度(誤字・脱字も考慮する)15%として評価する。

②**科目修了試験** 第1問50点、第2問50点。合計点で評価するが、1問でも0点となった場合は不合格とすることがある。

その他

常に、自分自身の体を見つめて、外界の変化に応じた肉体・精神の変化をとらえると理解しやすい。

歴史学 (テキスト)

担当教員： 藤井 雅子

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

課題を選択し、レポートを作成することを求める。日本史各時代における特長を捉え、時の支配者と民衆、女性、僧侶や寺院がどのような関わりを持ち、その立場を展開していったのかを考察する。テキストや参考文献に学びながら、歴史に対する多様な見方ができるようになることを願っている。歴史学を学ぶことによって、現代の世界や日本、さらには自分自身が抱える課題について考えてほしい。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ① 日本史における歴史事実を覚えるだけでなく、現代につながる歴史の流れや画期を理解する。
- ② 歴史についての考察力を持ち、特に現代社会との相違点や相似点についても考察しながら、自分なりの歴史観を持つ。

学習の進め方

まず[内容]にしたがってテキストを熟読する。レポートはテキストとともに参考文献を参考にしながら作成する。科目終了試験に向けては[内容]の各テーマに注目しながら、テキスト全体を深く理解しておくこと。

内容

- () 内の章はテキストの章を表す。
- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1. 旧石器時代・古墳時代の生活 (第1章・第2章) | 10. 近代における「国民」・農民 (第19章・第20章) |
| 2. 大和朝廷・古代の生活 (第3章・第4章) | 11. 近代における戦争への道 (第21章・第22章・第23章) |
| 3. 古代の女性の地位・律令国家の対外政策 (第5章・第6章) | 12. 戦後日本・民主主義 (第24章・第25章) |
| 4. 中世の農民・都市 (第7章・第8章) | 13. 高度経済成長・沖縄返還 (第26章・第27章) |
| 5. 中世の天皇と武家・中世社会の政治秩序 (第9章・第10章) | 14. 経済大国日本・21世紀への課題と問題 (第28章・第29章) |
| 6. 中世寺院・中世日本の国際関係 (第11章・第12章) | 15. 自分で歴史を見直そう！再考しよう！身近にある歴史を見直したり (自分の家族や居住している地域の歴史)、博物館を訪れて、興味のある歴史をより深く理解して下さい。 |
| 7. 近世における将軍と大名・近世日本の国際関係 (第13章・第14章) | 科目終了試験に向けては、レポート課題にみえる「女性」「武家」「戦争」「天皇」「寺院」等の語句に注目してテキストを復習すること。 |
| 8. 近世の大開発と都市・村の生活 (第15章・第16章) | |
| 9. 近世における民衆の文化・百姓一揆 (第17章・第18章) | |

テキスト・参考書

①テキスト 日本史のエッセンス 荒木敏夫・保坂智・加藤哲郎他 有斐閣 1997、学習の手引

テキスト一覧(『履修の手引』に掲載)を必ず参照のこと。

②参考書 テキストの章末に紹介されている文献など。

成績評価

①レポート 課題の理解30%、学生自身の学修成果30%、レポートとしての完成度40%として評価する。

②科目終了試験 論述形式の問題全2問を出題し、総合的に評価する。基礎知識30%、考察力30%、記述力40%として評価する。

その他

歴史の見方は人によって異なります。多くの参考文献を参照することによって、歴史に対する考察力を深めてください。

宗教とは何か (テキスト)

担当教員： 井関 大介

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目/2023年度

概要

私たちは普段、何気なく「宗教」という言葉を使っていますが、じつは「宗教」と「宗教」でないものの境目をはっきりと区切ることとはできません。この授業でも「〇〇教」と名前がついたものを順に学んでいくのではなく、むしろ、私たちが何を「宗教」あるいは「宗教的」と呼んできたのか、あらためて考え直します。そのような反省的な姿勢を身につけた上で、日常の具体的な局面において、多様な文化現象を「宗教」という切り口から眺めてみましょう。「宗教」を通して自己を知り、他者を知り、世界を知ることが、宗教学を学ぶことだと言えます。

授業の方法

【印刷教材等】

学位授与方針との関係

大学D P3

到達目標

- ① 宗教学の基礎的な理論を理解し、客観的に論じる姿勢を身につける
- ② 他宗教の知識を収集するだけでなく、今この自らの生に位置づけて考える力をつける

学習の進め方

テキストの各章を精読していくことで、宗教をどのように論じていくことができるのか、様々な話題に触れつつ学んでいきます。課題1はテキストの序章・終章と第Ⅰ部、課題2は第Ⅱ部と第Ⅲ部での学習内容に対応しています。各章末に参考文献リストがありますので、興味を抱いた話題についてはぜひ積極的に調べ、レポート作成に生かしてください。

内容

この講義で扱うテキストは、〇〇教というような個別教団の教義・歴史や、儀礼・神話・戒律といった学術用語について概説するというものではなく、誰にでも関わりのあることとして「宗教」なるものについて深く考えさせるように、身近な社会現象と絡めながら宗教学の知見が紹介されています。あくまでも「考えさせる」ことを重視したテキストですので、ただ特定の話題についてのまとまった知識を得たい時には不便な面もあります。そのため、基本的な学術用語や理論、個別の宗教教団についての知識については、参考書の④や、より初歩的な内容の③などを利用することで補ってください。テキストは宗教学的な考え方を身につける訓練をするためのガイドであり、参考書は特定の問題についてより深く考えるための道具や材料のようなものとして、うまく使い分けてください。

テキストの構成は次の通りです。まず序章・終章を読んで宗教学的な視点を理解した上で、第Ⅰ～Ⅲ部の具体的なトピックについて学んでいってください。

序章 宗教学への入り口

第Ⅰ部 現代の生の現場から問う (第1～6章)

第Ⅱ部 宗教の立場に即して考える (第7～11章)

第Ⅲ部 宗教に距離をとって問う (第12～16章)

終章 宗教学の実践

レポートは読書感想文や私的なエッセイではありません。テキストを読む前の素の自分のままで、不用意な取り組み方をしないように気をつけましょう。課題では、テキストをよく読んで学習し、それまでとは違った考え方でできる自分へと成長した上で、あらためて身近な物事を自ら考察するということが求められています。テキストの著者の意見に従わねばならないというわけではありませんが、一人で自分勝手に考えるのではなく、テキストと対話をしながら批判的に考察を深めていってください。

試験では、テキストで論じられている様々なトピックから出題されます。わからないところやもっと知りたいところがあれば、参考書を用いて調べておいてください。科目修了試験に向けて、テキストで学んだことをよく咀嚼し、知識を覚えるだけでなく、自分自身のこととして主体的に考察できるようにしておきましょう。

テキスト・参考書

テキスト 宗教学キーワード 葛西賢太・島藺進・福嶋信吉・藤原聖子 有斐閣双書、学習の手引

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

参考書

- ①教科書の中の宗教—この奇妙な実態 藤原聖子 岩波書店 2011
- ②はじめて学ぶ宗教 岡田典夫・小澤浩・櫻井義秀・島藺進・中村圭志 有斐閣 2011
- ③プレスステップ宗教学〈第3版〉 石井研士 弘文堂 2020
- ④よくわかる宗教学 櫻井 義秀・平藤 喜久子 ミネルヴァ書房 2015

成績評価

① レポート

全体を100として、課題を正しく理解していること（20%）、テキスト等の内容を理解していること（30%）、適切な具体例に言及しながら自分自身の理解の進展が表現できていること（50%）を目安に、レポートの完成度も勘案して評価します。

② 科目修了試験

全体を100として、問題を正しく理解していること（20%）、テキスト等の内容を理解していること（30%）、適切な具体例に言及しながら自分自身の理解の進展が表現できていること（50%）を目安に評価します。

文学 (テキスト)

担当教員： 田中 大士・伊達 舞

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

文学は、ことばによって「人間とは何か」を探求する営みです。この科目は、日本語によって書かれた文学作品を考察の対象とし、日本では文学を通じてどのように人間探求の営みがなされてきたのかを学ぶことを目的としています。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを指定、関連する項目を調べる。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ①日本文学のことばの変遷についての基本的な知識を習得する。
- ②上代～現代にいたる日本文学の展開についての基本的な知識を習得する。
- ③個々の文学作品について、その文学史的な意義や特徴を論ずることができる。

学習の進め方

テキストは、八十迄生きた国文学者が、日本文学研究への温かい視点をもって描いた文学史です。ジャンルや時代を超えた幅広い知識が記されています。その書かれた内容について、取り上げられている作品を実際に読みながら理解を深めていきます。その際、書かれている事項以外にも有名な作品は読みましょう。レポートは感想文ではありません。作品を精読しながら問題点を考察し、自分自身の言葉で論じることが求められます。

内容

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 文学とは何かー広い視野からとらえる | 9. 日本の文学(3) 中世文学 |
| 2. 日本文学のことば(1) 上代文学 | 10. 日本の文学(4) 近世文学 |
| 3. 日本文学のことば(2) 中古文学 | 11. 日本の文学(5) 近代・現代文学 |
| 4. 日本文学のことば(3) 中世文学 | 12. 日本の演劇(1) 中世演劇 |
| 5. 日本文学のことば(4) 近世文学 | 13. 日本の演劇(2) 近世演劇 |
| 6. 日本文学のことば(5) 近代・現代文学 | 14. 日本の演劇(3) 現代演劇 |
| 7. 日本の文学(1) 上代文学 | 15. 総括 |
| 8. 日本の文学(2) 中古文学 | |

テキスト・参考書

- ①**テキスト** 島津忠夫『老のくりごと』
- ②**参考書** テキストの章毎に関連する分野の参考書があげられていますので、それを参照してください。

成績評価

- ①**レポート** 提出されたレポートは添削を経て返却されます。その添削が評価(課題の理解50%、論理性30%、アドバイスの活用20%)となります。
- ②**科目修了試験** 100点を満点とし、60点以上を合格とします。

その他

古典文学と関係の深い能・狂言・文楽・歌舞伎などの伝統芸能をできるだけ多く鑑賞するように心がけてください。

言語と情報 (テキスト)

担当教員： 田辺 和子・木村 麻衣子

1年次～ 選択必修2単位

テキスト科目／2023年度

概要

人間は、言葉によって多くのメッセージを他者に発信しています。そして、そのメッセージの受け手や言語が使用される場面、コミュニケーションの目的によって、その表現様式は、様々に変化します。この科目は、社会における言葉の機能と伝える情報との関連について学ぶことを目的としています。

授業の方法

【印刷教材等】

テキストを指定し、課題の趣旨に沿った文献調査や観察調査を行う。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ① 日本語に関する基本的な知識を修得する。
- ② 社会におけるさまざまな場面での言語の使用のされかたを観察し、その機能や役割を説明することができる。
- ③ 言語に関する観察や調査の結果および考察を、適切な文献を引用しながら論理的に記述することができる。

学習の進め方

このコースのテキストは、社会言語学についての入門書として企画され、社会言語学という学問に触れるのは初めてという人を対象に、前提の知識なしに読めることを目指して書かれています。本書は、対象や分野に偏りがないように、社会言語学という学問の全体が論理的にわかるように体系的な枠組みを提示することに主眼を置いています。本書を読み進めながら、自らの言語生活や言語行動を振り返り、実践的に社会言語学への理解を深めていきます。最終的には、自分で調査を行うことで、データを収集し分析する訓練を積み上げていきましょう。レポートは、感想文ではなく、データを客観的に考察した記録を記述します。

内容

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 社会言語学の枠組み 動向と展望 | 8. 集団語 (1) |
| 2. 言語と社会の規定関係 (1) | 9. 敬語と社会 (1) |
| 3. 言語と社会の規定関係 (2) | 10. 敬語と社会 (2) |
| 4. 言語間の格差 (1) | 11. 日本語の文字 変異・政策・景観 |
| 5. 言語間の格差 (2) | 12. 談話の規則性 (1) |
| 6. 標準語と方言 | 13. 談話の規則性 (2) |
| 7. 言葉の性差 | 14. 談話と言語のバリエーション (1) |
| | 15. 談話と言語のバリエーション (2) |

テキスト・参考書

① テキスト

社会言語学の枠組み 井上史雄・田邊和子編 くろしお出版 2022

テキスト一覧（『履修の手引』に掲載）を必ず参照のこと。

② 参考書

ことばと思考 今井むつみ 岩波書店 2010

会話分析入門 串田秀也、平本毅、林誠 勁草書房 2017

デジタルネイティブの時代 木村忠正 平凡社新書 2012

日本語の配慮表現の多様性 野田尚史他2名編 くろしお出版 2014

日本語ウォッチング 井上史雄 岩波書店 1998

〈性〉と日本語：ことばがつくる女と男 中村桃子 日本放送出版協会 2007

基礎からわかる論文の書き方 小熊英二 講談社 2022

テキスト各章末の「参考文献」や「推薦図書」も参考にしてください。

成績評価

① レポート

提出されたレポートは添削の上返却します。レポート（2課題）の採点結果を本科目の成績とします。採点にあたっての評価基準は以下の通りです。

- ・調査の内容 30%
- ・引用文献の適切さ 30%
- ・考察の妥当性 20%

・論理的整合性 20%

② 科目修了試験

100点を満点とし、60点以上を合格とします。

その他

自らの言語生活を見直してください。今まであまり注意を向けていなかった言語使用を正しく認識し、その構造や機能の理解に努めてください。また、さまざまなメディアにおける言語使用の特徴や、わたしたちの生活への影響についても考えてみましょう。

英語圏の文化（集中スクーリング）

担当教員： 大場 昌子

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

アメリカの文学について、歴史的な変遷を辿りながら主要な作家の作品を実際にも読むことで、その特徴を理解します。その上で、文学作品を通して、アメリカ合衆国の政治的、地域的、民族的諸相を捉えることを目指します。作品は英語の原作と日本語訳を併用して読みますので、翻訳のあり方についても学びます。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba 利用）】

オンデマンド型の音声付パワーポイントを配信します。さらに資料として配布する作品を各自読んでいただきます。また、授業内容の理解度を確認するために、毎回 manaba の「小テスト」に回答していただきます。最後に、課題に対するレポートを提出していただきます。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

- ①英語圏の文化（特に文学）について、一定の知識を持ち、簡潔に説明することができる。
- ②英語圏の文化（特に文学）の諸相を理解する。
- ③英語圏の文化（特に文学）への関心を深める。

授業計画

- (1) アメリカ合衆国の歴史-1 植民地時代から独立戦争
- (2) アメリカ合衆国の歴史-2 独立宣言、領土拡大、南北戦争、第1次世界大戦、第2次世界大戦、ベトナム戦争
- (3) ピューリタニズム
- (4) エマソンの思想
- (5) ヘンリ・デイヴィッド・ソロー『森の生活』
- (6) ナサニエル・ホーソーン『緋文字』
- (7) ハーマン・メルヴィル『白鯨』
- (8) マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』
- (9) ヘンリー・ジェームズ『ある婦人の肖像』
- (10) アーネスト・ヘミングウェイ『老人と海』
- (11) ジョン・スタインベック『怒りの葡萄』
- (12) ソール・ベロー『この日をつかめ』
- (13) トニ・モリソン『青い目がほしい』
- (14) アフリカ系作家（リチャード・ライト、ラルフ・エリソン、ジェームズ・ボールドウィン）
- (15) 女性作家（ケイト・ショパン、イーディス・ウォートン、グレイス・ペイリー）

受講にあたって

①準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

本講義の内容を深く理解するために、配布するテキストの予習、および授業の復習に約60時間を必要とします。

事前課題 ありません。

②**使用教科書** 使用しません。必要に応じて manaba で資料を配布します。

③**参考書** 授業中に適宜指示します。

④**準備するもの** 配布資料を整理するファイルを1冊用意してください。

⑤**成績評価** 各回に manaba で行う「小テスト」の回答30%、レポート70%。

⑥**学生へのメッセージ** アメリカ文学の名作に触れることで、アメリカ合衆国という国への理解を深めてもらうことを期待します。

特記事項 ありません。

美術の歴史（集中スクーリング）

担当教員： 条 和沙

1年次～ 選択必修2単位

スクーリング科目／2023年度

概要

西洋近代美術の歴史について学びます。西洋近代は、長い美術の歴史の中でも大きな変革が起こり、次々と個性的な芸術家や芸術運動が現れた時代にあたります。この変化を理解するために、それぞれの芸術運動が誕生した時代背景を確認し、代表的な芸術家と作品を取り上げて分析します。

授業の方法

【オンデマンド型遠隔授業（manaba利用）】

毎回講義動画を視聴し、理解度を確認するための課題（小テストまたは小レポート）に取り組む。

学位授与方針との関係

大学DP3

到達目標

西洋近代美術史の時代区分と流れを理解できるようになること。それぞれの時代・地域を代表する芸術家と作品についての基礎知識、および基本的な作品の見方を身につけること。

授業計画

1. イントロダクション—西洋近代美術史の時代区分
2. 新古典主義：ダヴィッドとアングル
3. 美術と制度：美術アカデミー、サロン、美術館の開館、美術教育
4. ロマン主義：ジェリコーとドラクロワ
5. 写実主義：クールベとバルビゾン派 （第1日目：オンデマンド型（manaba））
6. エドゥアール・マネと近代的主題
7. 印象派と色彩の革命：モネ、ルノワール
8. 印象派と都市風俗：ドガ、カサット
9. ポスト印象派と新印象派：セザンヌ、ゴーガン、ゴッホ、スーラ
10. イギリスの前衛的動向：ラファエル前派と唯美主義 （第2日目：オンデマンド型（manaba））
11. 装飾芸術とアール・ヌーヴォー
12. ナビ派と象徴主義
13. マティスとフォーヴィスム
14. キュビズム：ピカソとブラック
15. まとめ （第3日目：オンデマンド型（manaba））

① 準備学習に必要な学修内容及びそれに必要な時間

参考書に目を通し、次回のテーマに関わる主な芸術家や芸術運動の概要を予習すること（1時間）。

②使用教科書 とくにありません。授業で紹介する重要な作品については、作者名、作品名、制作年等を記したプリントを配布します。

③参考書 『世界美術大全集 西洋編』 小学館 1992—1997年（全29巻）
『カラー版 近代絵画史』 高階秀爾 中公新書 2017年（上下巻）
『西洋美術史（美術出版ライブラリー 歴史編）』 秋山聰・田中正之監修 美術出版社 2021年

④持参（準備）するもの とくにありません。

⑤成績評価 授業への参加（manaba上での小テストと小レポート）70%、筆記試験（manaba上で実施。論述問題を含む。）30%

⑥学生へのメッセージ 授業で紹介する美術館や展覧会に積極的に足を運び、なるべく作品と向きあう機会をつくるようにしてください。